



## Cisco IP Phone ハードウェア

- [Cisco IP Phone ハードウェアの概要, 1 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7811, 2 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7821, 4 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7841, 5 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7861, 6 ページ](#)
- [ボタンとハードウェア, 7 ページ](#)
- [用語の違い, 10 ページ](#)

## Cisco IP Phone ハードウェアの概要

Cisco IP Phone は、インターネットプロトコル (IP) ネットワーク経由の音声通信を提供します。Cisco IP Phone は、デジタルビジネスフォンとほぼ同様に機能し、電話コールの発受信に加えて、ミュート、保留、転送、スピードダイヤル、コール転送などの機能を使用できます。また、データネットワークに接続するため、IP テレフォニー機能が拡張され、ネットワーク情報やサービス、およびカスタマイズ可能な機能やサービスにアクセスできるようになります。

Cisco IP Phone 7841 はギガビットイーサネット接続をサポートしています。

電話機の回線キーに機能を追加する場合は、使用可能な回線キーの数に制限されます。電話機の回線キーの数より多い機能を追加することはできません。

表 1: Cisco IP Phone 7800 シリーズとサポートされる回線キー

電話	サポートされる回線キー
Cisco IP Phone 7811	0
Cisco IP Phone 7821	2
Cisco IP Phone 7841	4

電話	サポートされる回線キー
Cisco IP Phone 7861	16

Cisco IP Phone は、他のネットワークデバイスと同様に設定と管理を行う必要があります。これらの電話機は、G.711 a-law、G.711 mu-law、G.722、G.722.2/AMR-WB、G.729a、G.729ab および iLBC コーデックのエンコード、および G.711 a-law、G.711 mu-law、G.722、G.722.2/AMR-WB、G.729a、G.729ab および iLBC コーデックのデコードをサポートしています。



#### 注意

セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP Phone のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Cisco IP Phone は、コール転送や転送、リダイヤル、スピードダイヤル、会議コール、ボイスメッセージング システムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco Unified IP Phone では、さらにその他の各種の機能も提供します。

Cisco IP Phone は、他のネットワークデバイスと同様に、サードパーティ コール制御システムおよび IP ネットワークの他の部分にアクセスできるように設定する必要があります。DHCP を使用すると、電話機上で設定する内容が少なくなります。ただし、ネットワークで必要な場合は、IP アドレス、TFTP サーバ、サブネット情報などの情報を手動で設定できます。

Cisco Unified IP Phone は、IP ネットワーク上の他のサービスやデバイスと連携することで、高度な機能を提供できます。たとえば、サードパーティ コール制御を社内の Lightweight Directory Access Protocol 3 (LDAP3) 標準ディレクトリと統合すると、ユーザが同僚の連絡先情報を IP Phone で直接検索できるようになります。XML を使用すると、天気予報、株価情報、商品相場などの Web ベースの情報にユーザがアクセスできるようになります。

さらに、Cisco Unified IP Phone はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を IP Phone から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP Phone を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、現在のコールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。

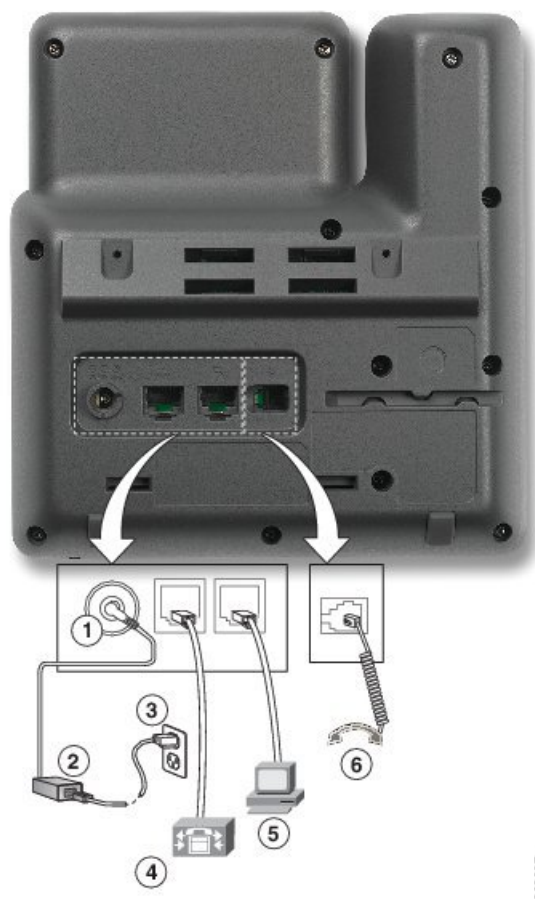
Cisco IP Phone を IP テレフォニー ネットワークで機能させるには、IP Phone を Cisco Catalyst スイッチなどのネットワーク デバイスに接続する必要があります。また、コールを送受信する前に、Cisco IP Phone をサードパーティ コール制御システムに登録する必要があります。

## Cisco IP Phone 7811

### 電話機の接続

イーサネット ケーブルを使って電話機を LAN に接続することにより、電話機の全機能が使用可能になります。イーサネット ポートに Power over Ethernet (PoE) が付属している場合は、LAN

ポートを介して電話機に電力を供給できます。建物の外側に LAN イーサネット ケーブルを延長しないでください。電話機を動作させるには、電話機が IP テレフォニー ネットワーク に接続されている必要があります。



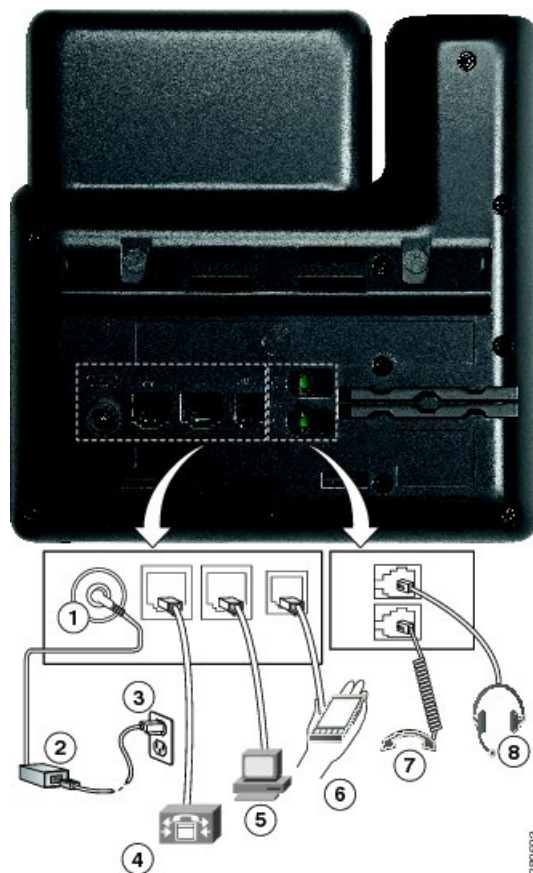
393007

1	DC アダプタ ポート (DC 48 V)	4	ネットワーク ポート (10/100 SW) 接続 IEEE 802.3af 電源対応
2	AC-DC 電源装置 (任意)	5	アクセス ポート (10/100 PC) 接続 (オプション)
3	AC 電源コンセント (任意)	6	ハンドセットの接続

# Cisco IP Phone 7821

## 電話機の接続

イーサネット ケーブルを使用して Cisco IP Phone を LAN に接続すると、Cisco IP Phone の全機能を使用できるようになります。イーサネットポートに Power over Ethernet (PoE) が付属している場合は、LAN ポートを介して Cisco IP Phone に電力を供給できます。建物の外側に LAN イーサネット ケーブルを延長しないでください。電話機を動作させるには、電話機が IP テレフォニー ネットワークに接続されている必要があります。



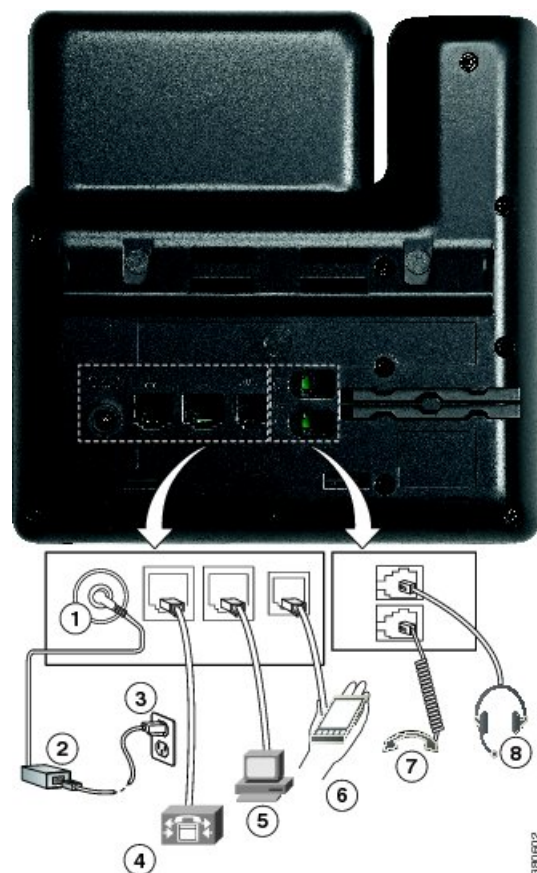
1	DC アダプタポート (DC48V) (オプション)	5	アクセスポート (10/100 PC) 接続 (オプション)
2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート (オプション)
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続

4	ネットワークポート (10/100 SW) 接続IEEE 802.3af 電源対応	8	アナログヘッドセット接続 (任意)
---	---	---	-------------------

## Cisco IP Phone 7841

### 電話機の接続

イーサネットケーブルを使用して Cisco IP Phone を LAN に接続すると、Cisco IP Phone の全機能を使用できるようになります。イーサネットポートに Power over Ethernet (PoE) が付属している場合は、LAN ポートを介して Cisco IP Phone に電力を供給できます。建物の外側に LAN イーサネットケーブルを延長しないでください。電話機を動作させるには、電話機が IP テレフォニーネットワークに接続されている必要があります。



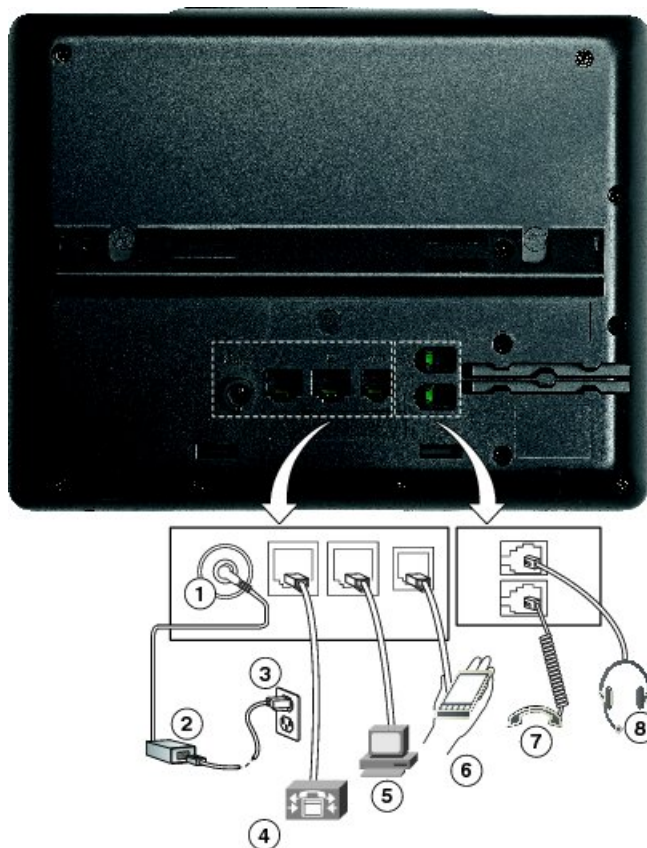
1	DCアダプタポート (DC48V) (オプション)	5	アクセスポート (10/100/1000 PC) 接続 (オプション)
---	---------------------------	---	-------------------------------------

2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート (オプション)
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続IEEE 802.3af 電源対応	8	アナログ ヘッドセット接続 (任意)

## Cisco IP Phone 7861

### 電話機の接続

イーサネット ケーブルを使用して Cisco IP Phone を LAN に接続すると、Cisco IP Phone の全機能を使用できるようになります。イーサネットポートに Power over Ethernet (PoE) が付属している場合は、LAN ポートを介して Cisco IP Phone に電力を供給できます。建物の外側に LAN イーサネット ケーブルを延長しないでください。電話機を動作させるには、電話機が IP テレフォニー ネットワークに接続されている必要があります。



1	DCアダプタポート (DC48V) (オプション)	5	アクセスポート (10/100 PC) 接続 (オプション)
2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート (オプション)
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワークポート (10/100 SW) 接続IEEE 802.3af 電源対応	8	アナログヘッドセット接続 (任意)

## ボタンとハードウェア


Cisco IP Phone 7800 シリーズには、さまざまなハードウェア タイプがあります。

- Cisco IP Phone 7811 : 画面の両側にボタンなし
- Cisco IP Phone 7821 : 画面の左側に 2 つのボタン
- Cisco IP Phone 7841 : 画面の両側に 2 つのボタン
- Cisco IP Phone 7861 : 画面の右側に 16 個のボタン











次の図に、Cisco IP Phone 7841 を示します。

図 1 : Cisco IP Phone 7800 シリーズのボタンと機能



1	ハンドセット、およびライトストリップ付きハンドセット	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	☐ 電話回線、機能、コールセッションにアクセスできます。 詳細については、 <a href="#">ソフトキー</a> 、 <a href="#">回線ボタン</a> 、 <a href="#">機能ボタン</a> 、 <a href="#">(9 ページ)</a> を参照してください。 Cisco IP Phone 7811 にはプログラム可能な機能ボタンや回線ボタンがありません。
3	ソフトキー ボタン	☐ 機能とサービスにアクセスできます。 詳細については、 <a href="#">ソフトキー</a> 、 <a href="#">回線ボタン</a> 、 <a href="#">機能ボタン</a> 、 <a href="#">(9 ページ)</a> を参照してください。
4	ナビゲーション クラスタ	ナビゲーションリングと選択  ボタン。メニューのスクロールや項目の強調表示、強調表示された項目の選択ができます。







5	[保留/再開 (Hold/Resume) ]、[会議 (Conference) ]、および[転送 (Transfer) ]	<p>[保留/再開 (Hold/Resume) ]  : アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。</p> <p>[会議 (Conference) ]  : 電話会議を作成します。</p> <p>[転送 (Transfer) ]  : コールを転送します。</p>
6	[スピーカフォン (Speakerphone) ]、[ミュート (Mute) ]、および[ヘッドセット (Headset) ]	<p>[スピーカフォン (Speakerphone) ]  : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>[ミュート (Mute) ]  : マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>[ヘッドセット (Headset) ]  : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。</p> <p>Cisco IP Phone 7811 には[ヘッドセット (Headset) ] ボタンがありません。</p>
7	[連絡先 (Contacts) ]、[アプリケーション (Applications) ]、および[メッセージ (Messages) ]	<p>[連絡先 (Contacts) ]  : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。</p> <p>[アプリケーション (Applications) ]  : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。</p> <p>[メッセージ (Messages) ]  : ボイスメッセージングシステムを自動的にダイヤルします。</p>
8	[音量 (Volume) ] ボタン :	 <p>ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの音量 (オフフック) と呼出音の音量 (オンフック) を調整します。</p>

## ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機上の機能との対話は複数の方法で行うことができます。

- 画面下部に配置されたソフトキーによって、画面上でソフトキーの上に表示される機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で何を実行しているかによって異なります。[詳細... (More...)] ソフトキーは、その他にも使用可能な機能があることを示します。
- 画面の両側に配置された機能ボタンと回線ボタンは、電話機能と電話回線へのアクセスを可能にします。
  - 機能ボタン：[短縮ダイヤル (Speed dial)] や [コールピックアップ (Call pickup)] などの機能を利用する場合や、別の回線に自分の在席状況を表示する場合に使用します。
  - 回線ボタン：コールに応答したり、保留中のコールを再開したりするために使用します。回線キーは、コールセッション ウィンドウの開閉、ウィンドウ内の移動にも使用できます。回線のコールを表示するには、コールセッション ウィンドウを開きます。

機能ボタンと回線ボタンのランプは、次のステータスを示します。

-  緑：回線がアイドル状態です。
-  赤、点灯：回線がアクティブ状態または使用中です。
-  赤、点滅：回線が保留中、または着信コールがあります。
-  オレンジ、点灯：回線が未登録です（使用できません）。

管理者は、いくつかの機能をソフトキーまたは機能ボタンとして設定できます。さらに、ソフトキーや関連するハードボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

## 用語の違い

次の表に、『Cisco IP Phone 7800 シリーズ マルチプラットフォーム電話機 User Guide』と『Cisco IP Phone 7800 シリーズ マルチプラットフォーム電話機 Administration Guide』で使用されている用語の違いの一部を取り上げます。

表 2：用語の違い

ユーザガイド	アドミニストレーションガイド
メッセージインジケータ	メッセージ受信インジケータ (MWI) またはメッセージ受信ランプ
ボイスメール システム	ボイス メッセージ システム